

Tokyo Kasei Press

学園新聞

第78号

学校法人 渡辺学園
発行 総務部総務課
〒173-8602 東京都板橋区加賀
1-18-1 電話(3961)5226

東京家政大学大学院
東京家政大学短期大学部
東京家政大学附属女子高等学校・附属女子中学校
附属みどりヶ丘幼稚園

主な内容

- 狭山キャンパス新学部・新学科
開設記念祝賀会挙行…………… 1面
- 緑苑クラブ創立50周年
記念式典・特別記念講演会 開催…………… 2面
- 熱中症に気をつけよう! …………… 3面
- 夏期及び年間の省エネルギー活動について
のお願い…………… 4面

狭山キャンパス新学部・新学科 開設記念祝賀会挙行

入学式終了後、祝賀会が新築された6号館リハビリテーション学科棟1階のラーニングコモンズにて開催されました。美しい新緑をバックに、在校生によるホルン独奏に始まり、菅谷



今年には健康科学部への改組及びリハビリテーション学科開設を記念して、本学名誉教授、女性未来研究所長の樋口恵子先生が「高齢化社会突入の中で若者に期待すること」と題して入学式の直後に講演がありました。新入生とその家族等が真剣に、また時にはユーモアを交えた話に笑いが起こる中、和やかな時間を過ごしました。



平成30年4月5日、ハナミズキが満開の日、健康科学部及び子ども学部入学式が狭山校舎講堂で挙行されました。



在校生による演奏



記念講演
樋口恵子先生



入学式
山本和入学長

定彦理事長の挨拶、元衆議院議員の大野松茂様より祝辞を頂き、鏡開き、乾杯、山本和入学長からの謝辞、そして清水順市リハビリテーション学科長の声で幕を閉じました。



学長と教員による鏡開き



大野様と歓談する菅谷理事長



祝辞
大野松茂様

菅谷理事長、山本学長をはじめ、理事・役職者等が多数列席の下、保坂総務部長の司会により贈賞式が催されました。菅谷理事長は挨拶の中で、自主自律という渡邊先生建学の精神に沿って女性の活躍が増えていく中でも、渡辺学園の卒業生は、社会で頑張っている方が非常に多いと、大変うれしく思っておりますと話され、山本学長の挨拶で

5月10日板橋キャンパス中会議室にて平成29年度渡邊辰五郎賞・渡邊辰五郎奨励賞贈賞式・記念講演会が開催されました。第7回目の今回は木村素静氏・中本恵美子氏のお二人に賞が贈られました。

菅谷理事長、山本学長をはじめ、理事・役職者等が多数列席の下、保坂総務部長の司会により贈賞式が催されました。菅谷理事長は挨拶の中で、自主自律という渡邊先生建学の精神に沿って女性の活躍が増えていく中でも、渡辺学園の卒業生は、社会で頑張っている方が非常に多いと、大変うれしく思っておりますと話され、山本学長の挨拶で

は、卒業生が大学をつくるという言葉がありますが、まさに卒業した皆さんが活躍する中で、本学がどういう教育をしたかという、結果を表すことになっていると思います、と述べられました。



受賞者を囲んで 前列左より
菅谷理事長、中本氏、木村氏、山本学長



菅谷理事長挨拶

平成29年度
渡邊辰五郎賞贈賞式・記念講演会挙行

◆第7回受賞者(2名)

「渡邊辰五郎奨励賞」
木村素静氏 備前焼陶工
(昭和41年短期大学部保育科卒業)

「渡邊辰五郎賞」
中本恵美子氏 株式会社エーサイ
(平成9年大学院家政学研究科修士課程 食物栄養学専攻修了)

学校教育法第109条第1項に、「大学は、その教育研究水準の向上に資するため、文部科学大臣の定めるところにより、当該大学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備(次項において「教育研究等」という。)の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。」と定め、第2項において、「大学は、前項の措置に加え、当該大学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごと

に、文部科学大臣の認証を受けた者(以下「認証評価機関」という。)による評価(以下「認証評価」という。)を受けるものとする。」と定められています。

Association Japan University Accreditation since 1947

UNIVERSITY ACCREDITED 2018.4~2025.3

平成29年度大学評価(認証評価)の結果
「大学基準に適合」と認定

政大は、平成28年度に自己点検・評価を実施し、平成29年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価を受審しました。その結果、同協会から平成30年3月に「大学基準に適合している」と認定されました。認定の期間は平成37(2025)年3月31日までとなります。

緑苑クラブ創立50周年 記念式典・特別記念講演会 開催

昭和43年に創立された緑苑クラブは本年50周年を迎え、平成30年5月19日(土)小講堂(三木ホール)にて創立50周年記念式典・特別記念講演会が開催されました。学内外の来賓、緑苑クラブ会員、教職員、後援会役員、地域の方々など多数列席のもと、管弦部による美しいお琴の演奏ではじまり、斉藤忠良委員長による挨拶、続いて菅谷定彦理事長、大野松茂元衆議院議員、中里喜子緑窓会会長より温かいご祝辞をいただき、和やかに執り行われました。

式典の後、樋口恵子東京家政大学女性未来研究所長・名誉教授を講師に迎え、「人生100年 親子のきずな」というテーマでご講演いただきました。人生100年時代を生きるにあたり、その中心となる家族との関わり方、自身の在り方についてのお話に皆様共感を得られたようで、真剣に聞き入っている様子でした。

2時間に亘る記念式典・講演会は、新美謙二副委員長による挨拶で終了しましたが、緑苑クラブの今後の活動に大きな励みとなる一日となりました。

「緑苑クラブについて」
東京家政大学緑苑クラブは、東京家政大学・東京家政大学短期大学部卒業生の保護者により組織されている会です。大学の発展を願うという趣旨で発足し、学園事業に対して支援しています。



集合写真



斉藤委員長による挨拶

大学の
ここが知りたい!!

42

内部監査室

平成23年4月1日、本学園における業務の適正・適法化、効率化及び教職員の業務に関する意識の向上を図り、法人の健全な発展と社会的信頼の保持に資することを目的に設立されました。

平成28年度に、新たに百周年記念館3階に事務室が設置され、兼務職員の他本務職員も配置され、内部監査体制が強化されました。

組織の「内部」の人間によって行われる「監査」を内部監査と言います。本学園の職員が、本学園の組織及び教職員に対して監査を行います。その監査とは「法人の業務全般について、法令及び法人の諸規程並びに社会規範等に則り、適正に遂行されているかを公正かつ客観的な立場で検討及び評価し、法人の発展にとって有効な改善・改革の助言及び提案を理事長に行う」と本学園の規程に定められています。

「定期監査」と、必要に応じて行う「臨時監査」の2種類があります。具体的には、定期監査 ここで監査の一例として定期監査の方法についてご紹介します。

定期監査とは、被監査部門の関係資料や帳簿等の確認、照合または被監査部門の長への聞き取りによって行います。これらは、必要に応じて書面による監査とすることもあります。

最後に 内部監査室では、不正の確認だけに重きを置くのではなく、「働き方改革」を推進する現代であるからこそ、業務効率化を実現できる提案をすることを心掛けております。通常、学生や教職員の方々と直接接する機会はありませんが、学園の基盤となる組織が健全であるかを監視し、学園の発展や社会的信頼の確保の為に日々業務を行っています。

内部監査の基本 本学園の内部監査は原則として、教員個人の教育研究内容を除く、法人すべての業務活動を対象としており、その監査では「業務監査」及び「財務監査」を実施します。また、監査には内部監査計画に則り実施する

平成29年度学園貢献賞授賞式 挙行

平成29年度学園貢献賞の授賞式が、平成30年2月27日(火)に百周年記念館大会議室にて行われました。また、「大学院ベスト論文理事長賞」のみ、平成30年3月18日(日)大学院修了記念パーティーにて授賞式を行いました。

平成29年度は下記の通り16の個人・団体が受賞し、授賞式では菅谷理事長、山本学長、篠原校長(当時)より表彰状と副賞が授与されました。



学園貢献賞 受賞者 ※所属は全て受賞当時。看護学部は平成30年度より健康科学部に名称変更。

- 大学院ベスト論文理事長賞 荒木 萌 (大学院 健康栄養学専攻修士課程2年)
- 理事長賞 小泉 昌子 (大学院 健康栄養学専攻修士課程2年)
- 理事長特別賞 博物館
- 理事長奨励賞 北村 亮太 (わかさグループ平成7年卒)
- 学長賞 かせい森のおうち
- 学長奨励賞 澤山 あおい (大学 看護学部看護学科1年)
- 学長特別賞 栄養学科 管理栄養士国家試験対策チーム
- 学長特別賞 教育福祉学科 精神保健福祉士国家試験対策チーム
- 学長特別賞 教育福祉学科 社会福祉士国家試験対策チーム
- 校長賞 金井 諒盛 (中学校3年)
- 校長賞 秋山 彩貴 (高等学校3年)
- 校長賞 秋葉 保華 (中学校2年)
- 校長賞 合唱部 (中学校)
- 校長奨励賞 ドリルチーム部 INGERS (高等学校)
- 校長奨励賞 鈴木 乃々菜、菅野 美咲、齊藤 実莉 (高等学校食物研究部有志)
- 校長奨励賞 中学ピオトーブ委員会 (中学校)



平成30年春の叙勲

平成30年春の叙勲で、永年の教育・研究功績により、平成21年3月31日付で定年退職された浅見英夫名誉教授が瑞宝小綬章を受賞されました。



緑苑祭テーマ決定!!

板橋キャンパス

テーマ「まつり 祭短し華めけ乙女」

10/27(土)・28(日)

狭山キャンパス

テーマ「花より家政」

10/28(日)

平成31年度 大学院人間生活学総合研究科入試日程

〈全専攻 1期・2期入試実施 男女共学〉

大学院人間生活学総合研究科では、衣・食・健康・福祉から、心と保育・教育までを包括した人間の生命活動と生存活動の探求を深め、新たな今日の課題に応える広く複眼的な視野を持った研究能力と課題解決能力のある実社会でリーダーとなれる人材の養成を目指します。31年度入試日程は以下の通りです。

(大学院事務室：03-3961-3473 / daigakuin@tokyo-kasei.ac.jp)

課程	専攻	定員	入試種別	説明会	試験日	出願期間	合格発表	入学手続期間	
修士	児童学児童教育学	5	1期 一般・社会人特別 学内推薦 ※	7/4 (水)	9/19 (水)	10/29 (月)	10/9 (火) ~ 10/15 (月)	10/31 (水)	11/5 ~ 11/9 (金)
	健康栄養学	5							
	造形学	4							
	英語・英語教育研究	4	2期 一般・社会人特別 学内推薦 ※	12/5 (水)	2/6 (水)	1/15 ~ 1/21 (月)	2/8 (金)	2/12 ~ 2/18 (月)	
	臨床心理学	8							
教育福祉学	4								
博士後期	人間生活学	3							

※ 人間生活学専攻では学内推薦入試は実施しません。臨床心理学専攻は学内選抜入試を8月上旬に1回実施する予定です。大学院の詳しい情報については、大学院HPで確認してください。

熱中症に 気をつけよう!

熱中症は7月や8月だけでなく5月の急に気温が上がる日や残暑が厳しい9月以降もかかるおそれがあります。熱中症にかからないようにするためには、正しい知識と応急処置法を知っておくことが必要です。

熱中症予防

- 温度に気をくばりましょう
 - * 天気や気温を知る
 - * 日陰を選んで歩く
 - * 日傘や帽子の活用
 - * エアコンや扇風機を上手に使う
- 涼しい素材の服を着る
 - * 木綿・麻などの自然素材
 - * や吸汗・速乾性に優れた素材を選ぶ
- 飲物を持ち歩きましょう
 - * こまめな水分補給
 - * 喉が渇く前、暑いところ

に出る前から水分補給
スポーツドリンクや塩分
を含んだ飴などを携帯し
水分と一緒に塩分補給
休憩をとりましょう

● 涼しい場所での休息
* ぐっすり眠れる環境づく
り

● 自分の体調を知ろう
* 栄養をとりましょう
* 朝食を抜かない
夏バテでも食材選びや調理方法を工夫して無理なく栄養補給

● 夏風邪のときも要注意

● 熱中症の応急処置
● 涼しい場所へ避難
風通しのよい日陰やエアコンの効いている室内へ避難

● 体を冷やす
衣服を緩めたり脱がせるなどして、体からの熱の放散を助ける
うちわで扇いだり、露出

させた部位に水をかけるなどして、体からの熱の放散を助ける保冷剤や冷えたペットボトルなど「冷たいもの」があれば、首やわきの下、太ももの付け根に当てて体を冷やそう



● 水分・塩分補給
● 医療機関へ運ぶ
意識がないなど、自力で水分の摂取ができない時は、緊急で医療機関に搬送することが最優先の対処方法

なんとなく体調が悪い、普段と違うと感じた時は、無理せず保健センターに相談してください。

学生同士の学びをサポートする
ピアサポーター
今年も始動!

昨年度より活動を開始した学生ボランティアのピアサポーターが、今年度も本格的に板橋図書館にて活動開始しました! 図書館内での学びのサポートデスクを出したり、授業に関するお役立ち本の紹介をしています。この活動をもっと知ってもらうため、5月31日に新入生歓迎交流会に参加し、活動紹介を行ってきました。



歓迎会での様子



図書館での様子

夏期休業中の長期貸出

この夏の予定はもう決まりましたか?
夏休みは、通常より長く貸出ができます。この機会にたくさん読書を楽しんで、新学期へ向けて知識を蓄えましょう!

所属	貸出日	貸出冊数	返却期限日
大学・短大	7/16(月)~9/3(月)	10冊	9/18(火)
大学院	7/16(月)~8/9(木)	20冊	

所属	貸出日	貸出冊数	返却期限日
大学・短大	7/16(月)~8/27(月)	5冊	9/11(火)
大学院	7/16(月)~8/9(木)	10冊	

夏期休業中の開館日・開館時間については、開館カレンダーまたは図書館HPをご確認ください。

中学校・高等学校
INGERs 全国大会2位

高等学校ドリルチーム部 INGERsは、2月18日に駒沢体育館にて行われた、全国大会の地区予選でもあるUSA Regionals 東京大会に出場しました。この大会のPom-Medium部門に出場したAチームは1位通過を果たし、全国大会出場を決める事ができました。その後Aチームは、残念ながら予選敗退となったBチームの協力と応援のもとチーム一丸となって練習を重ね、3月27日に幕張メッセで開かれた全国大会USA Nationalsで2位とすることができました。



全国大会で2位に輝いた INGERs

全国大会での2位という成績は私達にとって望外の喜びともいえるもので、ここに至るまでご支援くださっ

た学園・中高の方々をはじめ、INGERsに関わる全ての皆様に感謝いたします。私達が日頃心がけているのは笑顔と迫力あるパフォーマンス、チームの一体感です。そして、観ている人たちが元気の出るような演技が目標です。

また、INGERsというチーム名は、部の創設時に「進化し続ける人たち」という意味を込めて付けられたものです。その名の通り、メンバー一人一人が成長し、チームとして進化し続けていきたいと思っています。

3月24日。第4回目の卒園式を行いました。年長児は1月から、卒園に向けて準備や、卒園制作の活動をしました。卒園制作については、子どもたちがみんなで話し合いました。「みんなで遊べる遊具がいんじゃない?」「外に飾るもの」「お部屋に飾るものが出る中で、一番多かったのは、子どもたちが長く親しんできた「もりのへなそうる」のお話より、「へなそうる」という赤と黄色の恐竜を作るというものでした。どのような素材ならできるか、どんな形にするか話し、木の板を並べてへなそうるを作ることに決まりました。身長ほどある板を、ペンキでへなそうるの色にしていく時にも「一緒にや



記念樹の 温州みかんの木



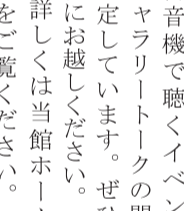
みんなで作った「へなそうる」



卒園式では立派な姿をみせてくれました

博物館
特別企画展のご案内
「和装モダン」

この展覧会では、大正から昭和時代前期までの女性の着物を中心に展示します。大正時代以降、百貨店や婦人雑誌が数々の新商品を打ち出し、和服にもさまざまな選択肢が生まれました。また、流行の中心が礼服から外出着に移ったことにより多くの女性が流行を楽しめるようになりました。和服が日常着であった時代の華やかでモダンな和の装いをお楽しみください。



企画展会期中には、大正・昭和時代のレコードを蓄音機で聴くイベントやギヤラリートークの開催を予定しています。ぜひお気軽にお越しください。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

今年も元気に幼稚園生活がスタートしました。年少組の子ども達は、はじめての幼稚園生活に毎日ドキドキ・ワクワク! 入園当初は緊張から硬い表情を浮かべていた子ども達も、好きな遊びを見つけたり、先生や友達と関わったりする中で、少しずつ緊張もほぐれ、ニコニコの笑顔が見られるようになってきました。

毎朝、登園時間になると年長さんが「お手伝いに来ました!」とお部屋にやってきました。「おはよう。」と挨拶をしたり、「タオルとコップはここにかけるんだよ。」と優しく教えたり、丁寧に朝の支度の流れを伝えてくれます。

こうした関わりがきっかけとなって、遊びの中でも異年齢での交流が生まれています。

園庭の池にたくさん生まられたオタマジャクシを、年中組や年長組の子ども達が夢中になってすくっている。年少組の子どもの様子や、年長組の子ども達がその様子を見て嬉しそうに話していました。一緒にすくってみたら、先生や友達と関わったりする中で、少しずつ緊張もほぐれ、ニコニコの笑顔が見られるようになってきました。



朝の身支度の様子

も刺激を受けながら、日々幼稚園での経験を豊かに広げています。一方、年中組や年長組は小さな友達と関わることを通して人に優しく接することを学んでいます。

このように互いにさまざまなことを吸収する機会となる異年齢の交流を日常の園生活の中で育んでいきたいと思っています。

生活科学研究所

●「レクチャーフォーラム」開催のお知らせ

今年、サントリービール(株)よりビール開発のスペシャリストをお呼びして、



10月27日(土) 11:00 開演 (10:45 開場)
会場: 東京家政大学 板橋校舎 120周年記念館2階C講義室
講師: シニア・スペシャリスト 磯江晃氏
入場無料



「表彰式」10月27日(土)の東京家政大学緑苑祭の中で行う予定
学生の皆さん奮ってご応募ください!

その美味しさの秘密についてお話を伺う予定です。
【日時】10月27日(土) 11時開演

●「生活をテーマとする研究・作品コンクール」を募集しています。
【応募資格】
○一般高校生部門
○東京家政大学・短期大学の学生部門

表彰状および副賞として最優秀賞10万円(各部門1名) 優秀賞5万円(各部門2名) 佳作2万円(各部門5名)
【応募締切】9月10日(月)
応募方法については生活科学研究所のホームページでご確認ください。

女性未来研究所

東京家政大学女性未来研究所は、所長に本学名誉教授 樋口恵子先生をお迎えし、2013年に創設されました。

本学専任教員を中心とした兼任研究員が進める研究プロジェクトが12件あり、不定期に研究会を開催しております。ひと月からふた月に一回ほど開催する「定例研究会」では、女性と社会にまつわる問題について最新の知見を提供し、意見交換の機会を設けています。

8号館1階に事務室がありますので、いつでもお寄りください。また、定例研究会は、学内の方向けに公開しております。申込等は不要ですので、気になるテーマがありましたらぜひご参加ください。WEBページにてお知らせを行っておりますので、こちらもどうぞご覧ください。



国際交流センター

海外ってどこ?

海外について話している学生さんの話を聞くと、夢や憧れの場所として話す人と、怖い、危険な場所として話す人の2つのタイプがいることに気づきます。両極ですが、どちらも偏っているという意味では同じですね。ところで、海外ってどこでしょうか? 自分の国の外が海外なら、別の国の人が見たら日本も海外ですよね。私たちが別の国の

人から見たら、海外に住む外国人。友達の家に行くように「海外に行く」ことが当たり前になったら面白いと思いませんか?
日本にも様々な人がいるように、世界にはたくさんの国があって、それぞれの文化や環境、言葉、価値観、生き方があります。友達の家にお邪魔するように、海外の国々を訪れて自分の世界を広げ、たくさん学んでみましょう。

国際交流センターでは、国内で学ぶ箱根グリーンセミナーを始めとし、カナダ、イギリス、ニュージーランド、ドイツ、韓国、台湾、アメリカで語学研修や各学科の専門研修、現地の大学で学ぶ研修を提供しています。また学内でも、留学生カフェやEnglish Village、キャンパス英会話、TKUサマープログラムでは外国人留学生の受入もしています。



交通マナーを守りましょう!

約8千人の学生・生徒・教職員が通学・通勤しています。また、板橋校舎周辺は住宅地です。



1. 歩きながらスマートフォン等を使用しない
2. 右側を通行し、広がらない
3. 大声で騒がない・集まらない
4. 信号無視をせず、横断歩道を渡る
5. 踏切の遮断機が下がり始めたら、横断しない
6. 自転車は道路交通法を守って、安全に使用する

名誉教授称号記授与

平成30年3月に退職された左記の先生方に名誉教授の称号記が平成30年4月1日付で授与されました。

- 上野 容子 教授
- 木元 幸一 教授
- 小林 泰子 教授
- 近喰 ふじ子 教授
- 中村 信也 教授
- 西村 純一 教授
- 能澤 慧子 教授
- 森尻 強 教授
- 山本 悠三 教授

先生方は学園に入職されて以来、学内外でご活躍、教育上の多大な功績を残された他、永年にわたり学園の教育・研究の発展にご尽力いただきました。授与式は6月19日百周年記念館大会議室にて行われました。



夏期及び年間の省エネルギー活動について

学園では従来より空調機の適切な室温設定、夏期のクールビズの推進、夜間のライトダウン運動を実施しています。

これらの取り組みに加えて昨年度からは、地球温暖化防止の観点から環境省地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」に賛同し登録しています。しかし、省エネルギー対策を継続しておりますが

年々エネルギー使用量は増加しています。原因としては、今年5月より外気温が急激に高くなっている事、冬場の寒さが長く続いた事、外部への建物貸出が前年度比4倍を超えている事等が考えられます。

そのため、近年は国が定めたエネルギー支出を前年度比から1%減にする削減義務を果たしてまいります。今夏も健康に留意し、教育・研究活動等への影響がない範囲で省エネルギー対策にご協力をお願いします。(問合先: 財務部管財課)

「ニューズファイル」

板橋区手をつなぐ親の会「えがおの写真展」開催

5月24日(木)から6月7日(木)まで、120周年記念館ヒューマンライフ支援センターにて「えがおの写真展」が開催されました。

平成29年度学園貢献賞理事長特別賞を受賞した、わかさグループ卒業生の北村亮太さんのお母様が副会長の「板橋区手をつなぐ親の会」より依頼があり、開催の運びとなりました。

既に板橋区内で2回開催されており、毎回大変反響が大きく、新聞にも取り上げられています。

今回は、学生の皆さんに、障がいのある本人とその家族の笑顔を伝えたいとの希望で実現しました。

第2回新入生歓迎交流会の開催

5月31日(木)「第2回新入生歓迎交流会」が板橋キャンパス「ルーチェ」にて開催されました。

これは上級生と下級生の交流の機会として上級生が企画したもので、「家政大を、自分たちの学生生活を



前号の訂正
2面「つくし」の中の「開設して13年目」は「開設して3年目」の誤りでしたので、ここに訂正お詫びします。